

寝屋川橋 ねやがわし ●Neyagawa-bashi
〈寝屋川〉

大川と合流する寝屋川の最下流に架かる寝屋川橋は、都島区と中央区・西区を結ぶ土佐堀通の道筋になっている。

昭和初期、京阪電鉄天満駅の拡張工事のときに天満橋の上流にあった淀川の中洲を削り、同川岸の湿地帯や寝屋川の一部を埋め立て、京橋北詰から天満橋南詰に至る区間に国道2号に代わる町路を設け、昭和4(1929)年、ゲルバー式鋼鉄桁橋で橋長94.5m、幅員18.5mの橋が架けられた。

現在この橋は、交通量も多く日常生活のみならず災害時の避難路と物資供給路としても重要な橋である。

